

## 6 緑の活用による効果の特徴

### 6-1 事業メニュー別波及効果の具体事例

#### (1) 工場地帯で環境創造につながる緑地の創出（一般緑化：尼崎市）

##### ① 背景・概要

- ・緑地の乏しい国道43号南側の工業地帯で1世紀にわたり事業展開する鉄鋼会社が平成14年に策定された尼崎21世紀の森構想に賛同し、敷地内を緑化。
- ・敷地内緑化に加え、道路境界沿いに設置されていたコンクリート塀を撤去し、工場内へセットバックしながら10年にわたる緑化を行い、高木の植栽により沿道景観の向上に寄与するなど、尼崎21世紀の森構想区域内での緑化の先導的な役割を担う。
- ・「四季折々の花が楽しめる森づくり」をコンセプトに、特に3～7月は桜、ツツジ、バラ、アジサイなど多種の樹木を植栽し、季節の移ろいが楽しめるほか、交差点など要所にシンボルツリーを設置するなど、歩行者や通行車両から楽しめる緑地を1.2kmに渡り整備。

##### ② 緑化による効果

- ・当事業を活用した緑化のみならず工場内の緑化も企業自ら積極的に推進。構内各所にシンボルツリーや緑地を整備し、緑地面積が大幅に増加。春には近隣関係者等を招き、花を楽しむ緑化事業見学会を開催し好評を博している。
- ・10年にわたる緑化の取組の結果、取組に共感する近隣事業所、自治会にも呼びかけ緑化協議会を設立し、緑化を推進。取組の輪がさらに広がる。
- ・尼崎城の再建を受け、地域団体である阪神南地域ビジョン委員会が武庫川下流域にある樹齢150年以上の黒松から種子を採取、尼崎の森中央緑地で育苗した苗木を緑化協議会が運河沿いに移植し、江戸時代の情景を再現。



緑化前



緑化後（10年経過）



沿道緑化の状況（10年経過）

#### (2) 屋上緑化の再整備（屋上緑化：神戸市中央区）

##### ① 背景・概要

- ・社屋新築時に屋上を緑化し、社員により維持管理していたが、雑草の繁茂に

より枯損。

- ・来訪者対応や重要な会議の際利用する会議室に隣接しているが、見苦しい状況であったため、常にブラインドを締め切り閉鎖的であった。
- ・社員による維持管理では限界があるため、維持管理体制の見直しを行い再整備を行った。再整備後は維持管理体制を見直し、社員による維持管理に加え、適宜、造園業者にも依頼することとしている。

## ② 緑化による効果

- ・ブラインドを開放し、緑を感じながらリラックスした雰囲気での話し合いが出来るようになり、取引先や株主総会などの来訪者からも緑が美しいと好評で、会社のイメージアップに寄与した。



ポータルライナーから見た屋上緑化の状況



会議室からの屋上緑化の眺望

## (3) 幼児向け子育て広場の創出（ひろばの芝生化：豊岡市）

### ① 背景・概要

- ・市役所庁舎前に芝生広場を整備。よちよち歩きが始まった幼児向け遊具を設置したところ、多くの親子が来場。飛び出し防止柵等を設置し、親が安心して遊ばせられる「子育て広場」として整備。
- ・同様の広場の整備を合併前の旧5町の住民団体に市が提案し、地域の子どもたちを青々とした芝生広場で遊ばせたいと願う住民団体が当事業を活用し、主体的に整備、維持管理を行う。



子育て広場でのお話し会

### ② 緑化による効果

- ・子どもたちの遊び場としてだけでなく、子育ての悩みや不安に関する母親の情報交換の場にもなっている。
- ・住民団体等が広場で子どもを見守るなど、母親の寛ぎの場としても機能している。

## (4) 地域内遊休地の緑化による地域コミュニティの強化

（一般緑化、ひろばの芝生化：神戸市北区）

### ① 背景・概要

- ・約40年前に開発された住宅団地内の学校予定地の一部で、開発当初より未利用。
- ・管理上の都合から住民が立入りできず治安上の懸念に加え、雑草が繁茂し花粉、害虫に悩まされる。
- ・管理者より自治会の利用について打診があり、地域交流の場として、四季を感じる花や樹木の香りが楽しめるテーマ性のある緑地を整備。



住民による植栽活動の様子

## ② 緑化による効果

- ・植樹祭を契機に世代を超えた地域住民の交流の場として地域の核となりつつある。
- ・地域の高齢者、保育園、子育て世代を中心に多くの住民が来訪し散策したり、運動したりするようになり、健康増進や子育て支援にも寄与している。

## (5) 自然への関心を高める園庭整備の取組（校庭の芝生化：加古川市）

### ① 背景・概要

- ・芝生や季節感のある園庭づくりを行いたいという理事長の強い思いから、サクラ、梅、クヌギ、カエデ、モミジ、イチョウなど花や紅葉で園児が季節を感じる樹木を植栽。



四季を感じさせる樹木

### ② 緑化による効果

- ・園庭開放時、入園前の親子連れが増加。
- ・芝生化により園児が活発に運動するようになったにもかかわらず、ケガは減少。
- ・管理員と一緒に芝生の草抜きを行ったり、樹木に集まる昆虫を観察したり、紅葉した葉やどんぐりを楽しそうに持ち帰るなど、植物や生き物に関心を持つ園児が増加。樹木に集まる昆虫が卵から成長する経験を通じて、心やさしい子どもの育成に寄与している。
- ・近隣住民や団体へ植栽のお手伝いを依頼したことにより、園が主催する様々な催しに出席や協力するなど、地域との関係がより緊密になった。



芝生で運動する園児

## 6-2 最近の都市緑化のトレンド

### (1) 都市ブランド向上に寄与する緑化

魅力ある都市として都市間競争において優位に立ち、海外からのビジネスパーソンや観光客の増加を図るため、地域の自然環境がもつ機能が文化、産業と関わることで都市の特異性、固有性を高め、都市・地域ブランドの構築が進められている。その基盤として都市のもつ自然環境や緑地が注目され、自然環境

や緑地の需要は緑の量だけでなく、質にも関心が高まっている。

グローバル経済を牽引する高度な技術、サービスを有する産業において専門性の高い人材、企業誘致が求められ、そのような企業にとって自然環境からのサービスが得られる緑豊かで快適な空間は大きな魅力となっている。



J R 新山口駅自由通路の垂直緑化  
(山口市HP)

## (2) 都市の建築外部空間における民間企業による緑化

高度化、高密度化した都市空間において緑の確保により得られる心理的、生理的効果は広く知られるところである。都心にオフィスを構える民間企業においても、身近に緑があることで従業員が仕事の合間の休憩や気分転換の場所として、ストレス軽減や活気向上に寄与するものとして認知され、緑の量だけでなく、空間デザインを工夫した社会的価値の高い緑化に取り組まれている。

また、緑の確保による快適性の向上が事業に対する評価の差別化に繋がることから、生活の質や心身の向上に対応した社会的価値の高い緑地の整備が進みつつある。

## (3) 室内におけるオフィス緑化

近年は屋外だけでなく、室内の緑化も積極的に行われている。

これまでオフィス緑化はインテリアや内装として活用されてきたが、多くの研究により植物がもつ多面的効果により精神的ストレスの軽減やVDT作業時の疲労に対する自覚症状が抑制されるなど、勤労者の心理状態の改善に寄与することが明らかとなっている。



オフィス緑化の事例\*

こうしたなかIT企業などにおいて、緑の持つ効果により従業員のストレス軽減、緊張緩和を図るとともに高い生産性を生み出すため、オフィス内への緑化を積極的に行っており、これに倣うようにオフィス緑化を行う事案が増えていく。

\* 「グリーンを活かした取組事例集」農水省花き産業・施設園芸振興室 平成24年5月